



2021年3月期決算補足説明資料

—目次—

1. 会社概要P1~2
2. 決算概要P3
3. 連結損益の状況P4
4. セグメント情報P5
5. 連結貸借対照表の状況P6
6. キャッシュフローの状況P7
7. ROE等の経営指標の状況P8
8. 2022年3月期の業績予想・配当予想P9



1.会社概要



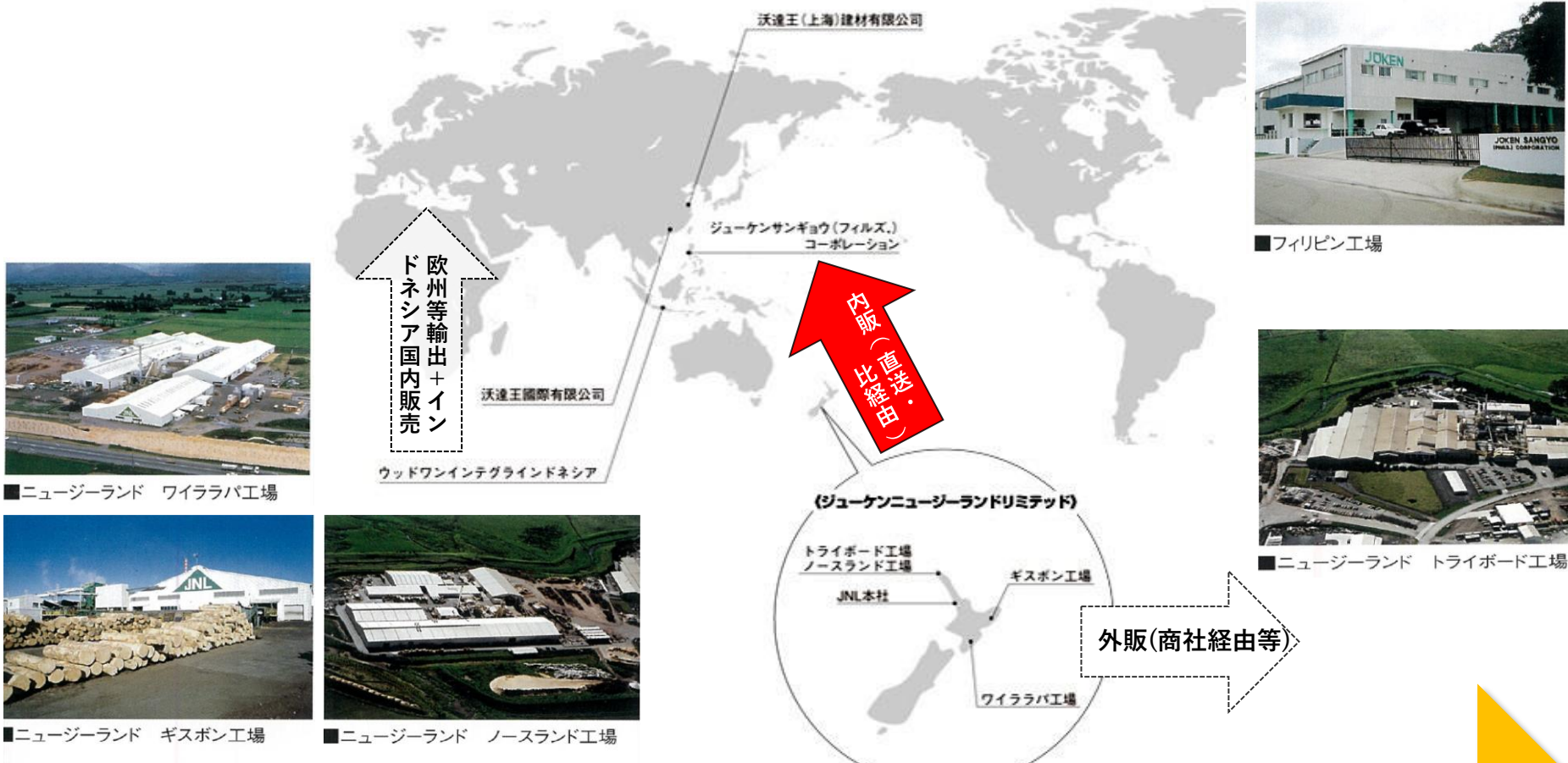
社名	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1-1
設立	1952年4月
資本金	73億2,497万円
従業員数	2,488名（連結）
	1,270名（単体） ※2021年3月31日現在
営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国45拠点
製造拠点	本社（廿日市）・豊橋・蒲郡



無垢No1木質総合建材
メーカー

キッチン

フローリング



一貫生産体制

苗木を植えることから

原材料の
確保

一次加工
二次加工

最終製品
製造

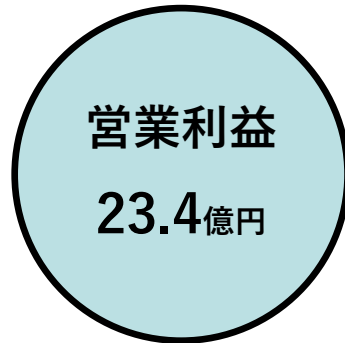
販売



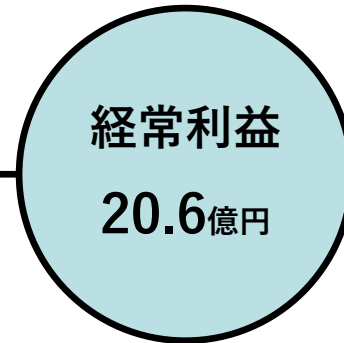
2.決算概要



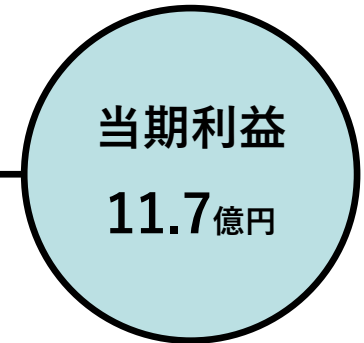
前期比 ▲7.1%



同 +20.7%

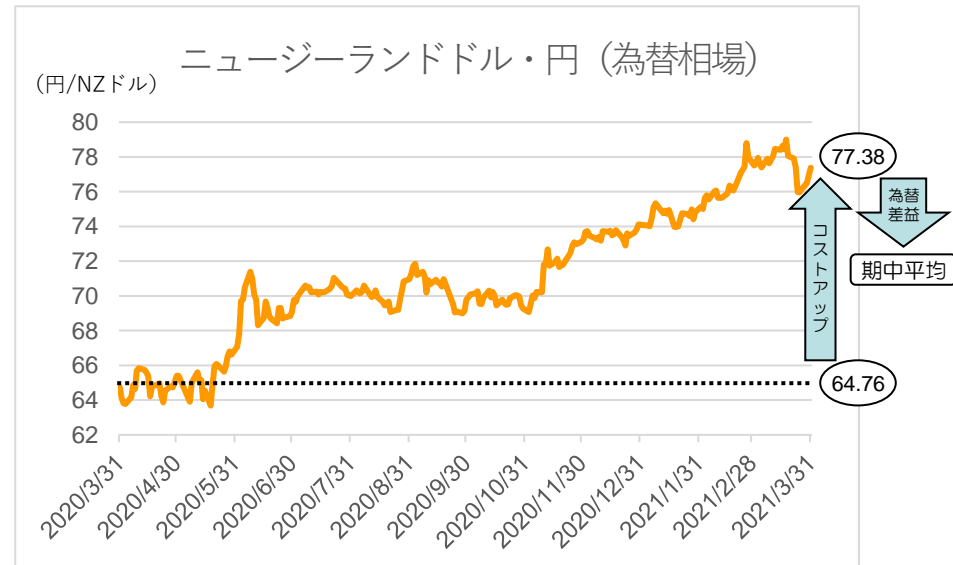
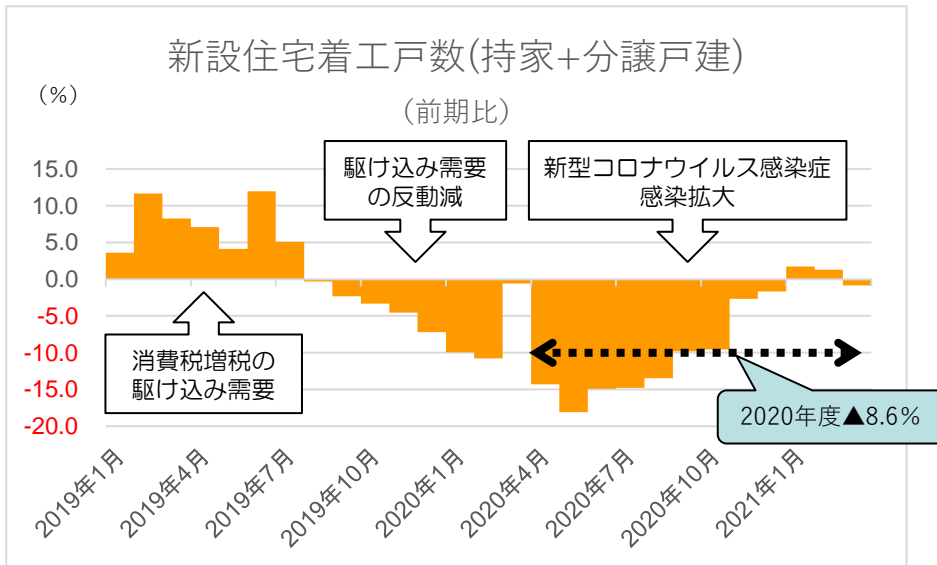


同 +103.7%



同 +41.2%

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を主因に新設住宅着工戸数（持家＋分譲戸建）が低迷し、減収。
- 無垢商品や省施工商品など付加価値の高い商品の拡販や生産性の向上、経費の削減に努めた結果、増益。



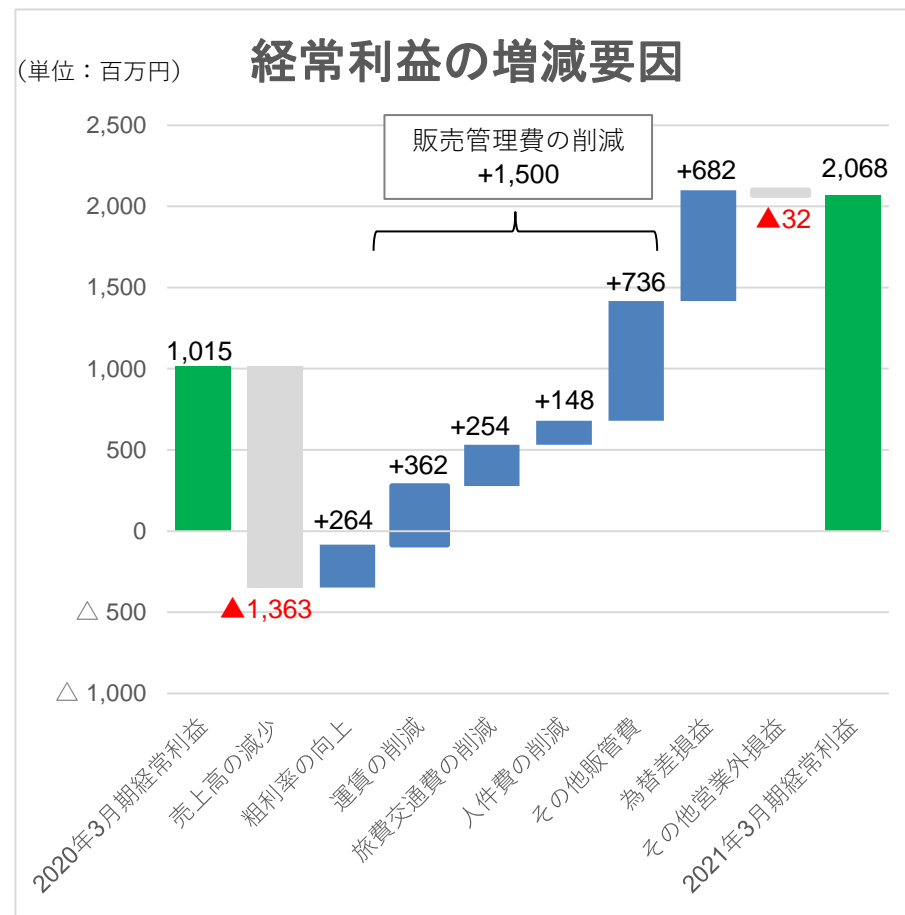


3.連結損益の状況

- 売上高の減少を粗利率の改善と販売管理費の削減でカバーし、営業利益は前期比増加。
- 主に為替差損益の影響（前期為替差損・当期為替差益）で、経常利益ではさらに増加額を積み上げ。

(単位：百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	前期比増減
売上高	63,566	59,076	△4,490
売上総利益	19,159	18,060	△1,098
売上総利益率 (粗利率)	30.1%	30.6%	0.5%
販売管理費	17,218	15,717	△1,500
営業利益	1,941	2,343	402
経常利益	1,015	2,068	1,052
親会社株主に帰属 する当期純利益	829	1,170	341





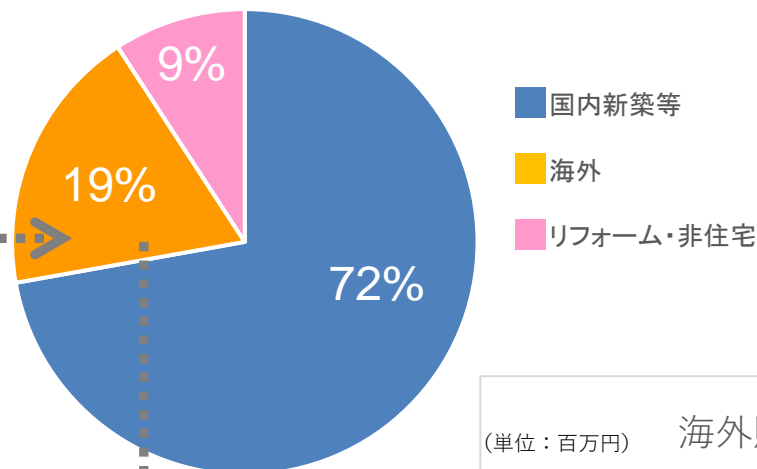
4.セグメント情報

- 住宅建材設備事業は減収。発電事業は出力アップにより増収。
- 住宅建材設備事業の海外売上（外販）は約2割。インドネシア子会社では徐々に増加傾向。

(単位：百万円)

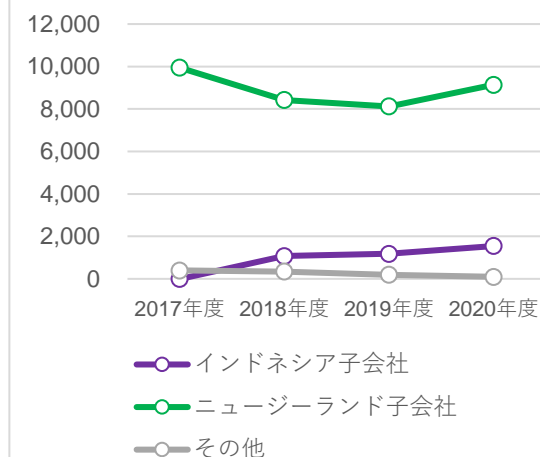
	2020年 3月期	2021年 3月期	前期比 増減
売上高	63,608	59,107	△4,500
住宅建材設備事業	62,401	57,839	△4,562
発電事業	1,206	1,268	61
営業利益	1,941	2,343	402
住宅建材設備事業	1,717	2,077	360
発電事業	223	265	41

<売上高 | 住宅建材設備事業の内訳>



海外販売の推移

(単位：百万円)





5.連結貸借対照表の状況

- インドネシア子会社の新規設備投資で有形固定資産と有利子負債が増加。
- 新型コロナウイルス感染症による景気低迷に備えるための資金借入で有利子負債と現預金が増加。 (単位：百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増 減	為替影響除き		主な増減要因
流動資産	26,385	28,766	+2,381	+1,625		
・現預金	6,614	8,377	+1,763	+1,715		
・たな卸資産	11,721	11,915	+193	△126		
・受取勘定他	8,049	8,474	+425	+37		
固定資産	54,303	62,375	+8,072	+3,696		
・有形固定資産（立木除く）	28,620	33,032	+4,411	+2,801		←インドネシア子会社の新規設備投資
・立木	14,021	17,070	+3,048	+264		
・無形固定資産	691	848	+156	+152		
・投資その他の資産	10,968	11,424	+456	+477		
資 産 合 計	80,688	91,142	+10,454	+5,322		
流動負債	16,890	18,833	+1,942	+1,248		
・有利子負債	7,145	9,007	+1,861	+1,516		
・支払勘定他	9,745	9,826	+81	△268		
固定負債	27,300	31,180	+3,879	+2,720		
・有利子負債	23,776	26,615	+2,839	+2,070		
・その他	3,524	4,564	+1,040	+650		
(*有利子負債合計)	(30,921)	(35,622)	(+4,700)	(+3,586)		←インドネシア子会社の設備投資 +新型コロナウイルス感染症対策資金
負 債 合 計	44,191	50,013	+5,822	+3,969		
・株主資本合計	34,765	35,648	+883	+324		
・その他包括利益累計額合計	891	4,433	+3,541	+821		
・新株予約権	157	150	△7	△7		
・非支配株主持分	682	897	+214	+214		
純 資 産 合 計	36,497	41,129	+4,631	+1,353		
負 債 純 資 産 合 計	80,688	91,142	+10,454	+5,322		



6. キャッシュフローの状況

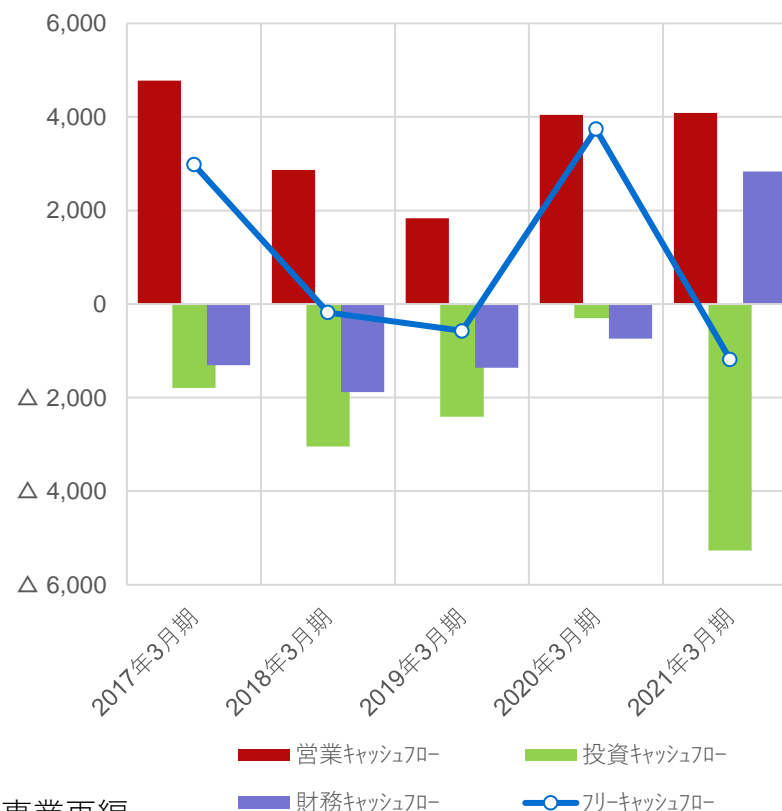
- 営業CF：減収の中、収益性の向上により前期並みを維持。
- 投資CF：インドネシア子会社での新工場建設投資で大きくマイナス。
- 財務CF：インドネシア子会社の設備投資資金借入と新型コロナウイルス感染症の感染拡大による景気低迷に備えるための資金借入でプラス。

(単位：百万円)

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
営業CF	4,776	2,866	1,834	4,044	4,088
投資CF	△1,795	△3,045	△2,409	△303	△5,270
フリーCF	2,981	△179	△575	3,741	△1,182
財務CF	△1,310	△1,881	△1,359	△740	2,835

<キャッシュフローの推移>

(単位：百万円)

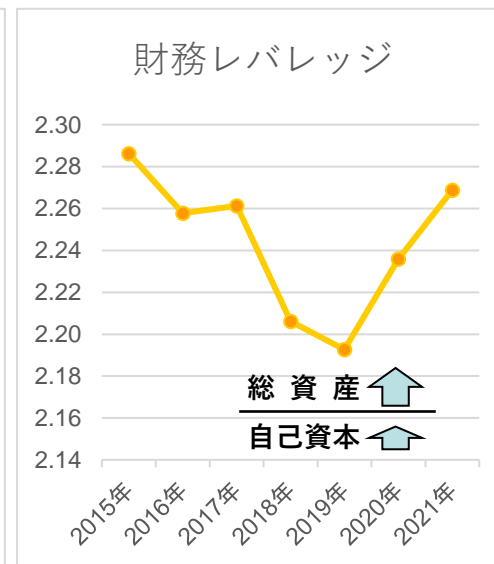
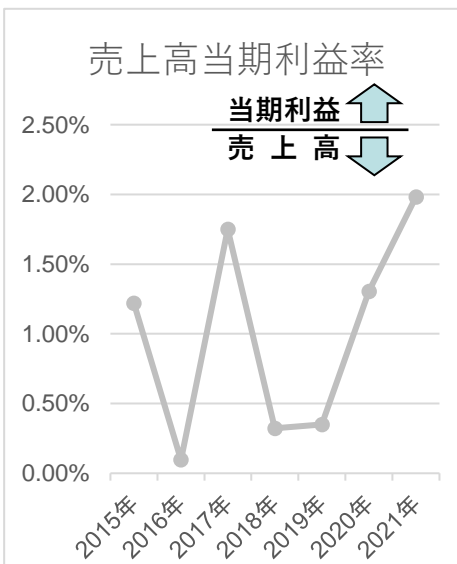
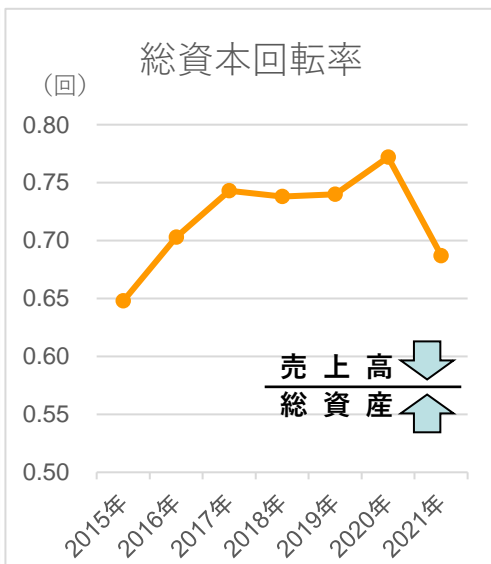
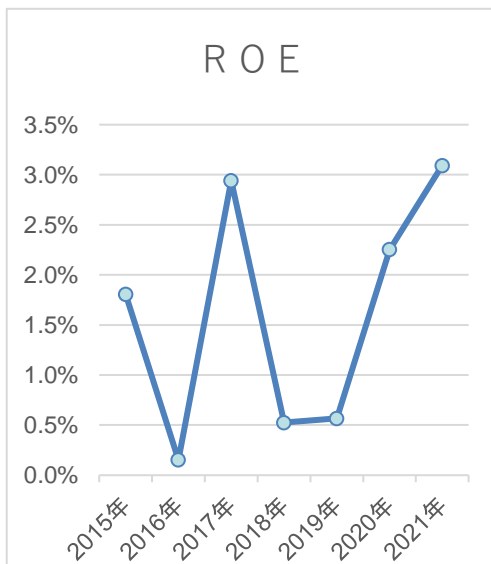
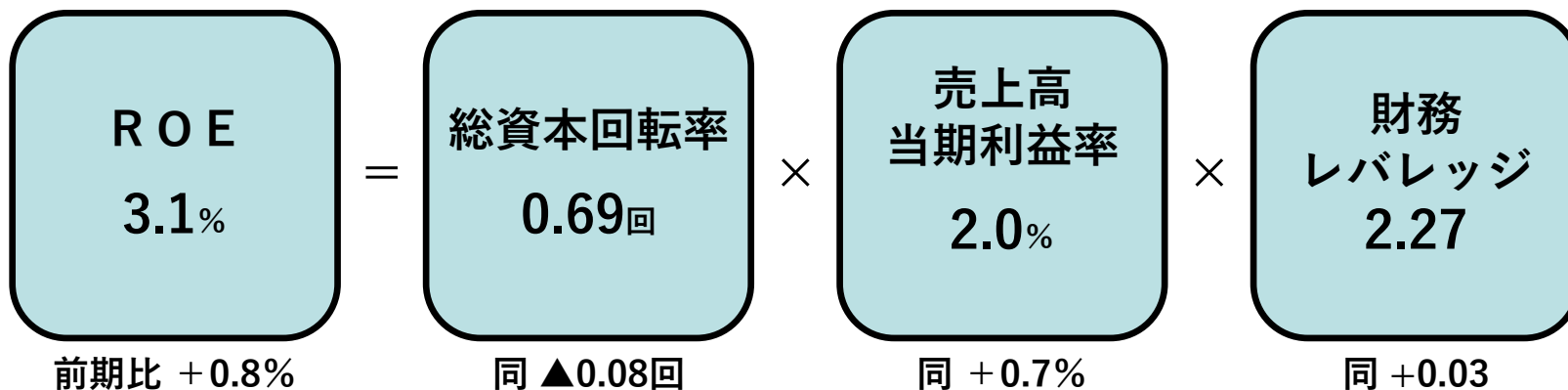


トピックス 2018年3月期：JNLギスボン工場合板ライン停止に伴う事業再編
 2019年3月期：住建（上海）有限公司の持分譲渡（入金は2019年4月）
 2021年3月期：インドネシア子会社の新規設備投資＋新型コロナウイルス感染症対策資金



7.ROE等の経営指標の状況

- 2021年3月期のROEは売上高当期利益率の上昇を主因に3.1%と改善（前期比+0.8%）。





8.2022年3月期の業績予想・配当予想

- 売上高は、持家や分譲戸建住宅の着工戸数の若干の回復を見込み、前期比プラスを想定（前々期比では若干のマイナス）。
- 営業利益は、木材価格の高騰やコンテナ不足などによる物流費の高騰などが懸念されることを勘案し、やや保守的に想定。
- 年間配当金は、2021年3月期と同額の24円を予想。

(単位：百万円)

(単位：円)

[業績予想:連結]	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比
売上高	59,076	61,800	+2,724
営業利益	2,343	1,700	△643
経常利益	2,068	1,200	△868
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,170	600	△570

[配当予想]	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想
中間	12.00	12.00
期末	12.00	12.00
年間	24.00	24.00
配当性向	19.1%	37.3%

予想数値は現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後変動する可能性があります。
 開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせいたします。